

京都第一赤十字病院で肺切除術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

解剖学的肺切除における肺静脈切除断端の血栓形成が術後脳梗塞に及ぼす影響の検討

京都第一赤十字病院呼吸器外科では、肺手術の後に生じた肺静脈の血栓が術後脳梗塞に及ぼす影響を調べる研究「**解剖学的肺切除における肺静脈切除断端の血栓形成が術後脳梗塞に及ぼす影響の検討**」を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で肺手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

実施にあたり京都第一赤十字病院医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

肺の切除部位により術後の脳梗塞の発症率が異なる事が、呼吸器外科学会の調査で明らかになりました。原因として、左肺静脈は解剖学的に切除断端が長くなり、血栓が形成される可能性が示唆されています。また器械を用いて切除した場合、切除断端の形状や縫合する金属が血栓形成に影響を及ぼす可能性も示唆されています。当院では、肺静脈の切除時には、中枢側を結紮する処置を行なっております。本研究では、肺切除部位による脳梗塞の発症率の違いや肺静脈結紮の有効性を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

・対象となる方について

2005（平成17）年1月1日から2027（令和9）年12月31日までの間に、京都第一赤十字病院呼吸器外科で肺手術を受けられた患者様が対象となります。

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2030（令和12）年3月31日

・方法

京都第一赤十字病院呼吸器外科で肺手術を受けられた患者様が対象となります。本研究は過去の記録を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と手術後の経過を解析します。

・研究に用いる資料・情報について

情報：病歴、検査歴、手術歴、術後合併症等の術後経過、病理所見 等

・利用又は提供を開始する予定日

利用開始日：倫理審査委員会承認日

・個人情報の取扱いについて

手術時に情報はすべて匿名化され、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工されるため、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2030（令和12）年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

京都第一赤十字病院呼吸器外科

職・氏名 医長・石原駿太 電話：075-561-1121（代表）

E-mail: shunta-ishihara@kyoto1.jrc.or.jp

受付時間 月曜～金曜 9：00～16：00（土日・祝日を除く）